施工説明書

INAX

緊急止水弁付サーモスタット混合水栓

一般地用
SF-M345TRHQ

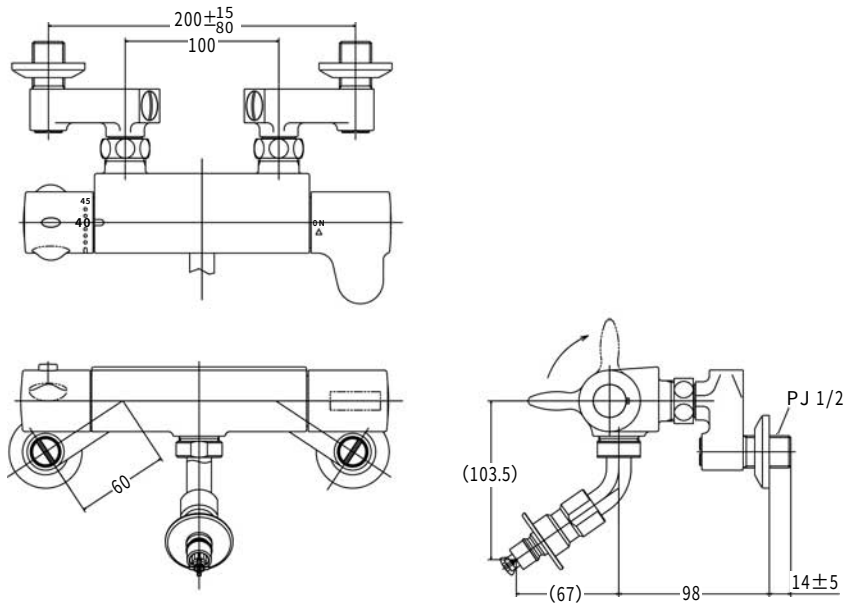
寒冷地用
SF-M345TRQN

工事店様へのお願い
貴店名ならびに据付引渡し日を保証書にご記入の上、お客さまに必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

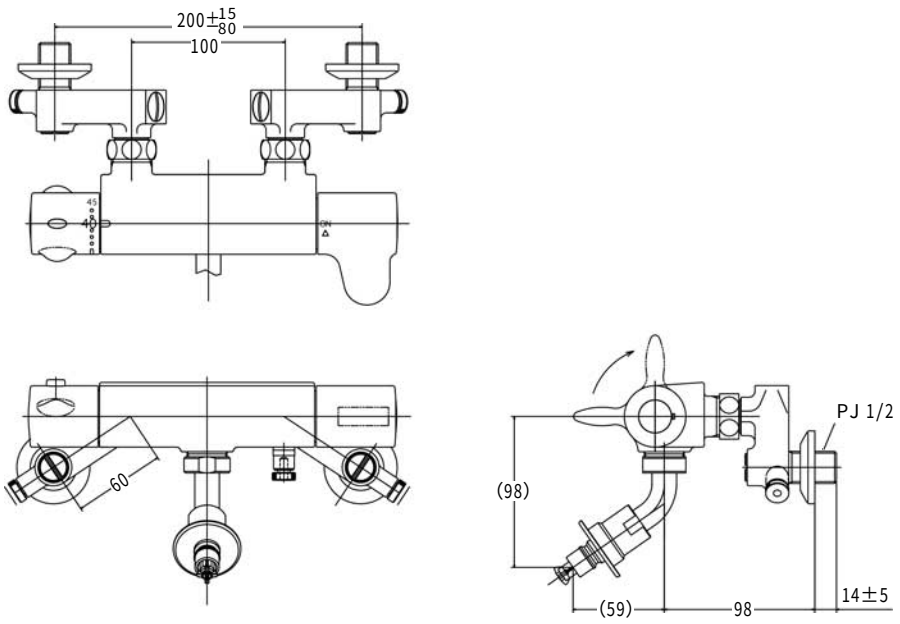
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●施工完了図

一般地用
SF-M345TRHQ



寒冷地用
SF-M345TRQN



●使用条件

●給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。
〔ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合〕
給水圧力 {最低必要圧力……A＋0.06MPa {0.6kgf/㎠}
最高圧力……0.75MPa {7.6kgf/㎠}
Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

- 測定条件
※開閉ハンドルは全開です。
※ガス給湯器との組合わせ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度42℃）によるものです。
※給水圧力はガス給湯器直前における流動時の静水圧です。
※ガス給湯器の温度調節は最高温度設定です。

〔貯湯式温水器と組み合わせる場合〕
給水・給湯圧力 {最低必要圧力……0.05MPa {0.5kgf/㎠}
最高圧力……0.75MPa {7.6kgf/㎠}

- 温度調節が容易で使い勝手をよくするために、給水圧力と給湯圧力より高圧か、または同圧となるようにしてください。

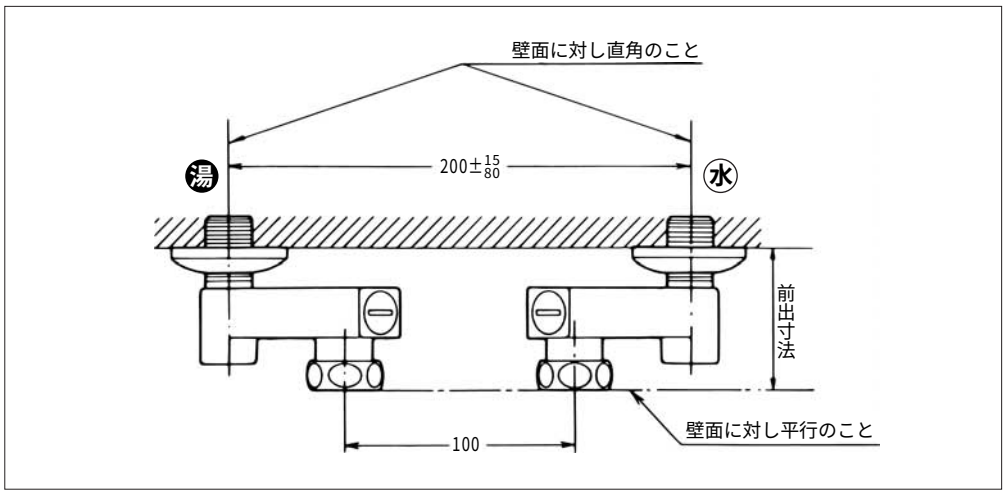
●給水圧力が0.75MPa {7.6kgf/㎠} を越える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力（0.20～0.39MPa {2～4kgf/㎠} 程度）に減圧してください。
●給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。
●給湯に蒸気は使用できません。

●施工前のご注意

●給水は上水道に接続してください。
※温泉水などの異物を多く含む水には使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
※逆配管では表示通り湯が出ません。
●給湯配管はできるだけ短くし、必ず保温材を巻いてください。
●商品の表面には直接工具を掛けないでください。
※工具を掛ける場合には、必ず商品に布等をあてて保護してください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように十分注意してください。
●必ず配管中の異物を完全に洗い流してください。

●施工方法

湯側、水側の取付脚は壁からの前出寸法が同一になるように取り付けます。



●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

⚠注　意	
湯水を逆に配管しないでください。 ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。	⊘
お客さまに引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。 寒冷地仕様の水抜方法は、取扱説明書を参照ください。 ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。	❗

株式会社 INAX

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センター 商品相談窓口
ナビダイヤル TEL 0570-017173

受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日10:00～18:00
（年末年始、夏期休暇は除く）

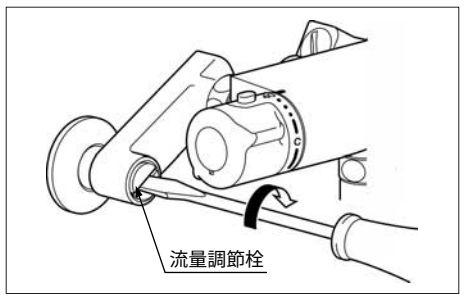
※ナビダイヤルは、PHS・IP電話などからはご利用できません。
TEL 0562-31-0793 をご利用ください。

●施工後の調節

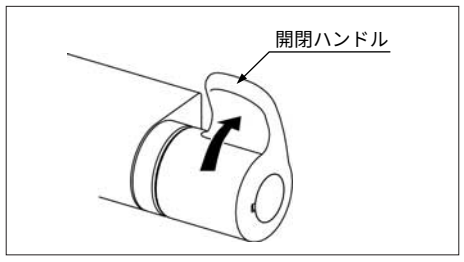
水栓の機能を十分に発揮させるために、通水確認時に以下の項目を必ず確認してください。

1. ストレーナーの清掃

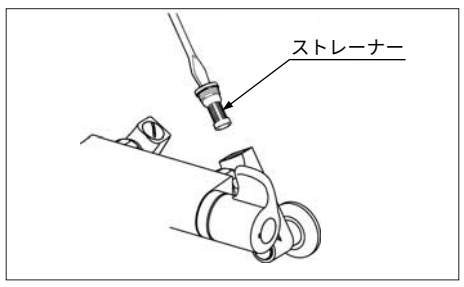
⑴湯側と水側の流量調節栓を時計回りいっぱいねじ込みます。



⑵開閉ハンドルを上側に回す。



⑶大型のマイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を水で洗い流します。ストレーナーは、湯側と水側の両方に付いています。



⑷組付けは逆の手順で行い、流量調節栓は元の位置に戻します。

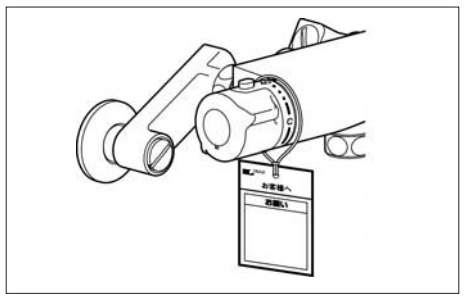
2. 給湯器の温度設定

給湯器の給湯温度を設定します。

※給湯温度は使用する最高温度より約10℃高く設定してください。

※給湯温度が変わると温度調節ハンドルの設定がズレて、表示通りの温度がでなくなります。

※給水温度の設定を確認できない場合は同梱のタグをハンドル等につり下げてください。

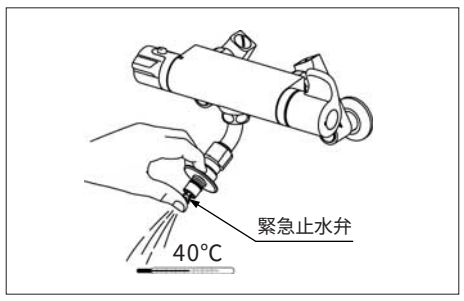


3. 流量の調節

水圧が0.20MPa{2kgf/㎠}を越える場合は水側と湯側の流量調節栓を次の要領で調節してください。

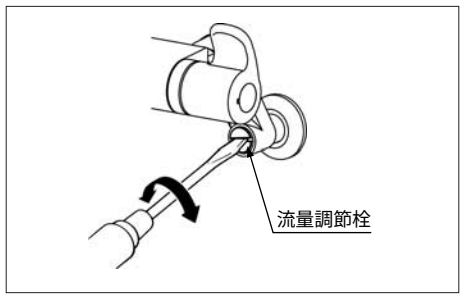
吐水口先端に緊急止水弁がついているため、水が出ません。

緊急止水弁先端を手で押し込みながら調節してください。



⑴温調ハンドルを「C」側いっぱいに回し吐水口を全開にします。

⑵流量が20L/分程度（洗面器一杯にするのに約10秒弱）になるように流量調節栓で調節します。



⑶温度調節ハンドルの温度目盛「40」を温度表示マークに合わせ、湯側の流量調節栓を流量が20L/分程度になるように調節します。

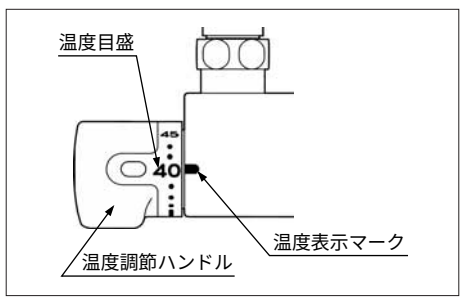
4. 吐出温度の確認

温度調節ハンドルは、工場で設定していますが、使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示通りの温度が出ないことがあります。吐出温度が表示通りになっているか以下の要領で確認します。

⑴温度調節ハンドルの温度目盛「40」を温度表示マークに合わせ、吐水口から全開で吐出します。

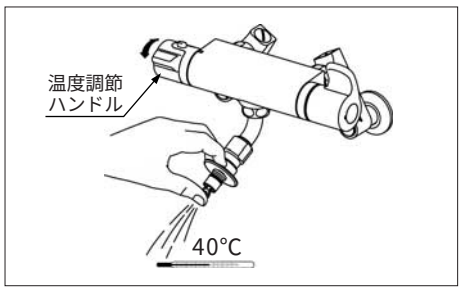
⑵吐出温度を確認します。吐出温度が適温（およそ40℃）であればそのままご使用いただけます。

吐出温度が適温からズレている場合は、以下の「温度調節ハンドルの設定」の項を参照し温度調節ハンドルを設定しなおします。



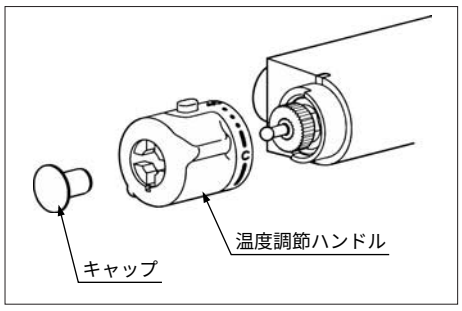
5. 温度調節ハンドルの設定

⑴吐水口を全開にして、吐出温度が温度目盛には関係なく40℃になるよう、温度調節ハンドルを回します。

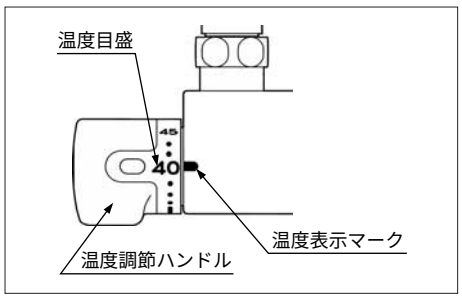


⑵吐出温度が40℃になったところで止水し、温度調節ハンドルが回転しないように注意して、キャップ、温度調節ハンドルを抜き取ります。

※キャップを外すと、温度調節ハンドルは手でひっぱるだけで外れます。



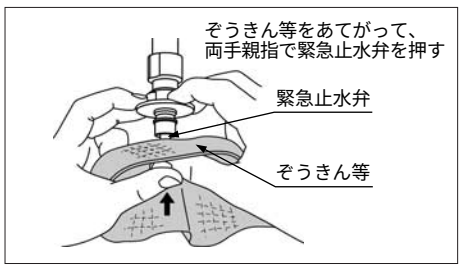
⑶抜き取った温度調節ハンドルの温度目盛「40」が温度表示マークに合うように温度調節ハンドルをはめて、キャップをはめ込みます。



●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

取付後、ハンドルを閉め、緊急止水栓を押し、圧力を抜いてください。圧力を抜かないと洗濯機と接続できません。

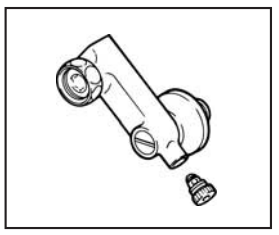


●故障と点検

※点検箇所は下図を参照してください。

現　　象	点　検　内　容	点検箇所	処　　置
流量が少ない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	配管途中に大きな抵抗はないか？		抵抗となる障害物を取り除く。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	流量調節栓は十分開いているか？	②	流量調節栓を十分開く。
	整流網にゴミ詰まりはないか？	③	ゴミ等を水で洗い流す。
水が止まらない	ゴミかみはないか？	④	ゴミ等を水で洗い流す。
	キズはないか？	④	キズがあれば部品を交換する。
湯水の逆流がある	逆止弁は正常か？ （ゴミ、砂かみは？） （Oリング、シートにキズは？）	⑤	ゴミ等を水で洗い流す。 キズがあれば部品を交換する。
希望の温度が得られない	圧力は十分か？		「使用条件」の項参照。
	ストレーナーにゴミ詰まりはないか？	①	ゴミ等を水で洗い流す。
	温度調節は良いか？	⑥	「温度調節」の項参照。
	温調カートリッジは働いているか？	⑦	「機能検査」の項参照。
	流量調節はよいか？	②	「流量調節」の項参照。

SF-M345TRHQ



□内は寒冷地仕様です。